

石狩川下流域減災対策協議会・流域治水協議会  
地域部会意見交換資料

夕張市

酷暑期・寒冷期における事前防災の取組

令和7年11月に2時間半にわたる市内全域の停電が発生したことを受けて、冬の寒さ対策について、広報に掲載し、市民周知を行った。

また、停電に関連することから、暴風雪への備えについて広報に掲載した。

毎年、発電機や照明器具など中心とした安心安全備品を整備している市内20箇所の集会所などで実施している防災講話で、冬の防災対策について参加者に説明を行っている。

## 競争入札参加資格の審査について

### ◆物品・役務に関する入札について

令和8・9年度に夕張市が発注する物品・役務の入札への参加資格審査を実施します。

インターネットによる受付開始

今回の審査から、(一財)北海道建設技術センターによる共同審査に参加し、インターネットによる申請受付を開始します。

### 申請の流れ

北海道建設技術センターのホームページから共同審査システムに利用登録を行います。数日後、メールで通知されるパスワードと登録IDを使ってシステムにログインし、必要な情報の入力を行い、添付書類をアップロードしてください。

なお、工事設計などの申請で既にシステムの利用登録をされている場合は、同じアカウントでの申請となります。

詳しい申請方法・システムの操作説明などは北海道建設技術センターのホームページをご覧ください。

### 受付期間

令和7年12月10日～翌1月30日まで

### 問合せ先

市総務係 ☎52-3170



<https://www.hoctec.info/kyoshin/>  
「北海道市町村入札参加資格  
共同審査ポータルサイト」で検索



### 暴風雪への備え

暴風雪は、冬期において発達した低気圧が北海道付近を通過するときや、強い冬の気圧配置のときに発生し、猛吹雪による視界不良や吹き溜まりによる車の立ち往生など交通障害が起きる可能性があります。

車が立ち往生して埋もれてしまった場合には、マフラーが雪で詰まり二酸化炭素中毒を起こしてしまふ危険性があります。また、暴風雪時には外出を控えることが基本ですが、着雪や強風により電線が切れて停電が発生し、照明や暖房器具が使えなくなるといった

おそれもありますので、停電に備えた準備も必要です。

気象台では、暴風雪によって重大な災害が発生するおそれがあると予想した場合に「暴風雪警報」を発表し、警戒を呼びかけています。特に、気象情報で「数年に一度の猛ふぶき」「外出は控えてください」と呼びかけた場合は、厳重な警戒が必要です。暴風雪の被害にあわないよう日頃から備えるとともに、気象庁ホームページや携帯電話アプリ、テレビ、ラジオなどで雪の状況や最新の気象情報を確認しましょう。

問合せ先 市消防本部保安係

☎53-4121

「暴風雪への備え」についての各種リーフレットは、札幌管区気象台ホームページよりダウンロードできます。



新春書初大会  
参加者募集

とき 令和8年1月7日(水)

午前10時～正午

ところ 拠点複合施設りすた

対象 幼児以上

参加料 無料

申込み 不要

持ち物 書道用具一式

問合せ先 市社会教育係

☎57-7711



## 冬の停電に備えましょう

悪天候や災害などにより停電はいつでも起きる可能性があります。特に、冬の停電は、低体温症になるリスクや、最悪の場合、命にかかわる危険性があります。万が一の停電時に備え、寒さ対策について、改めて確認しましょう。

平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震では、北海道全域が停電し、私たちの生活は大きな影響を受けました。冬の停電時にどのような対策が必要かを考えましょう。

### 暖房器具や防寒具で寒さから身を守る

停電が発生した場合、電気ストーブだけではなく、ガスや灯油を熱源とする暖房器具であっても、コンセントを使用する暖房器具は使えません。ポータブル灯油ストーブやカセットガスストーブなどコンセントを使用しないものを用意しましょう。上着や帽子などの防寒具や使い捨てカイロ、防寒アルミシートなども用意すると効果的です(図参照)。

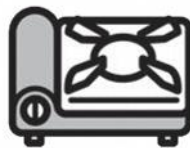
### 停電に備えて準備しておきたいもの

●照明器具



夜間、出入口や段差など、周囲の状況を確認するため、懐中電灯などの準備を。

●カセットこんろなどの調理器具



停電時は、IH調理器は使えません。カセットこんろの用意を。

●モバイルバッテリーや乾電池



情報収集や連絡手段として有効なスマートフォンなどの電源の準備を。

●ポータブルストーブなどの暖房器具



電気式の給湯・暖房設備は、停電時に使えません。電池式のものの用意を。

●車の燃料



車は、テレビやラジオ、電源確保や暖房などに活用できます。日ごろから補給を。

### 体の熱を逃がさない効果的な服装

- ・帽子をかぶる
- ・マフラーやネックウォーマーを上着の中にし  
まう
- ・手袋を袖にかぶせる
- ・ズボンの裾を靴下に入  
れる



問合せ先 市消防本部保安係 ☎53-4121

## ■ テーマ：「酷暑期・寒冷期における事前防災の取組について」

酷暑期や寒冷期における事前防災には、以下の対策があり、これらの対策を通じて、酷暑期や寒冷期における災害から命を守るための準備を万全に整えることが重要である。

### ○ 災害初動体制の確立

大雪や暴風雪等の発生に備え、町、道、国、関係団体及び町民等が一体となった総合的な防災体制を確立

### ○ 情報提供と教育

町民等への的確な情報提供、要配慮者への対応、孤立のおそれがある地域に対する対策を十分に留意

### ○ 防災訓練の実施

平時及び災害発生時において「自らが何をすべきか」を考え、災害に対して十分な準備をするよう促すための防災訓練等を実施

### ○ 科学技術の活用

災害情報の迅速かつ確実な把握・伝達により被害を最小化する技術を駆使 など

### ○ 地域の状況に応じた災害種別ごとの脆弱性評価

地域の状況に応じた災害種別ごとの脆弱性評価を実施し、防災・減災、国土強靱化の取組を推進

## ■ 令和7年度の取組

- 由仁町防災訓練を実施。災害対策本部員会議（設置訓練）による災害対処能力の向上、職員を対象とした「自らが何をすべきか」を考えさせる避難所開設・運営訓練の実施
- 「要配慮者への対応」に焦点をあて、個別避難計画を整備（毎年、確認・更新を実施） など

## ■ 次年度の取組予定

- 由仁町防災総合訓練の計画・実施（予定）  
【総合訓練のイメージ】例年実施している防災訓練の実施課目に下記課目等を追加（※担当者案）
  - ① 関係機関（警察・消防・自衛隊）と連携した行方不明者等の捜索、救急・救助、避難誘導等
  - ② 個別避難計画の実効性を確認する避難誘導訓練
  - ③ 陸上自衛隊又は日本赤十字奉仕団等による炊き出し（訓練参加者による体験喫食） など

令和7年度 石狩川下流域外減災対策協議会 夕張川上流地域部会（第10回）  
石狩川（下流）水系外流域治水協議会 夕張川上流外地域部会（第7回）

# 酷暑期・寒冷期における事前防災の 栗山町の取組状況

栗 山 町

# ① 酷暑期に関する事前防災の取り組み（熱中症対策）

## 【これまでの取り組み】

毎年8月又は9月頃、自然災害発生を想定した訓練（総合防災訓練）を実施している。



○気温が高い時期に訓練を行うので、イベントテントを立て日陰を作り参加者の体調に配慮したスペース作りを行った。

---

## 【今後の取り組み】

酷暑期の避難に重点を置いた訓練、避難所での熱中症対策についての防災講和などの取り組み。

## ②寒冷期に関する事前防災の取り組み。（冬季間に震度4以上の地震発生した場合）

### 【これまでの取り組み】

町内で行った防災学習で能登半島地震についての講和を行った。  
この地震は2024年1月1日に発生し、元旦と冬季間が重なり様々な被害をもたらしたことを伝えた。

#### ○被害の具体的な例

- ・雪や低温が救援、復旧を遅らせた。
- ・道路損壊＋雪で一部の集落の孤立
- ・避難生活での体調管理が厳しく、冬ならではのリスクが深刻化

### 【今後の取り組み】

令和8年1月17日～18日に日本赤十字北海道看護大学で開催された厳冬期避難所演習に、庁内の防災担当2人で参加をした。  
この経験を活かし令和8年度に町内で厳冬期訓練の開催を企画。

#### 厳冬期演習時の写真



防災講和



実際に寝たダンボールベッド